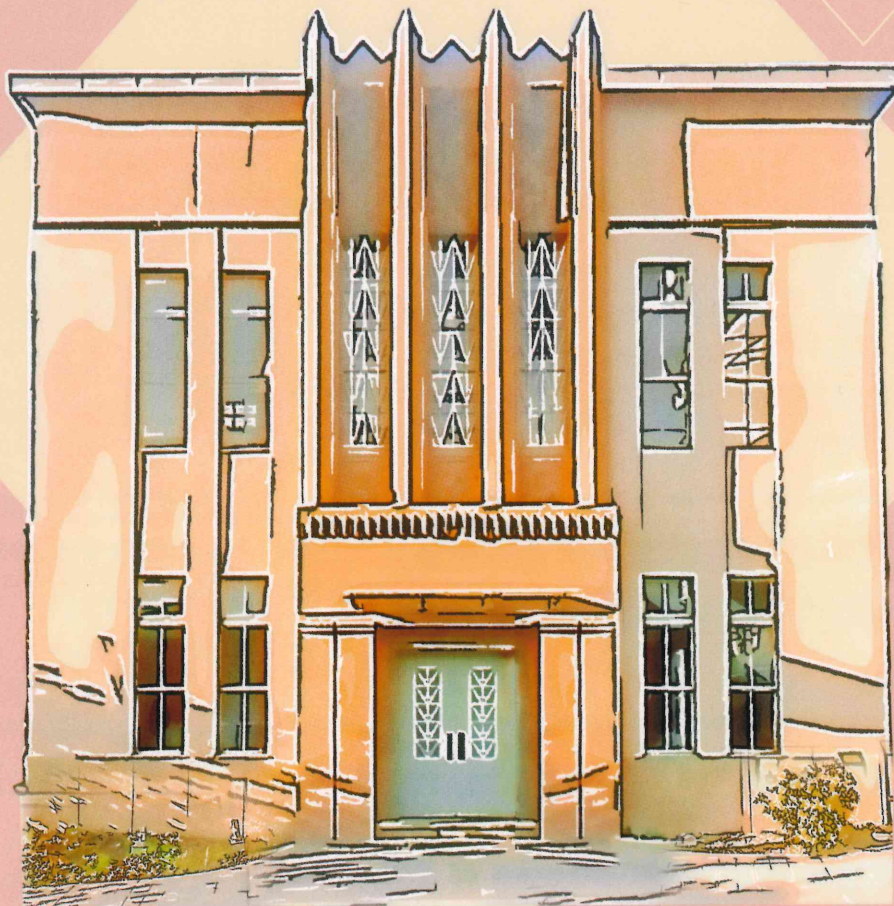


勝海舟記念館企画展

清明文庫

～時をこえ受け継ぐもの～

会期:12月17日(金)～3月13日(日)



国登録有形文化財「旧清明文庫」外観

——現在、勝海舟記念館として活用している「旧清明文庫」。
ここでは昭和初期、海舟に関わる資料の保管や展覧会が行われていました。
勝家ゆかりの「紹刺標本」などを、90年の時を超えて紹介します。



「勝伊代子自製紹刺標本」より

大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

■開館時間 午前10時～午後6時

※月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始を除く

12月13日(月)～16日(木)は展示替えのため休館

■入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)

■所在地 東京都大田区南千束2-3-1

■電話 03-6425-7608

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限や、人数制限をしております。最新の情報は、区ホームページをご覧ください。



企画展「清明文庫 ～時をこえ受け継ぐもの～」

2021年12月17日(金)～2022年3月13日(日)

勝海舟記念館は、平成12(2000)年に国登録有形文化財となった

「旧清明文庫」を活用しています。この建物は、昭和3(1928)年に洗足池畔の

勝伯爵家の旧所有地に建てられました。ここでは、財団法人清明会による海舟に関わる遺蹟保存や、幕末・明治維新に関わる図書の収集、講座や講演会の開講といった多くの事業が行われていました。

本展では、その内の「展覧会」と「資料保管」事業にスポットを当て、

当時、展覧会で陳列されていた資料を90年の時を超えて公開いたします。

また、清明文庫で保管されていた「勝伊代子自製紹刺標本」も展示します。

ぜひ、現在の記念館へと受け継がれているものをご覧ください。

「勝伊代子自製紹刺標本」(大正10年)

海舟の長男・小鹿と後妻・球子の遺児である伊予子(海舟の養子である精の妻)が、自ら制作した紹刺しの標本。「紹刺し」とは古くから日本に伝わる刺繍の一種で、絹でできた三本絹の布に、図案を写し、図案に沿って太めの絹糸を直線に刺していく手法です。

この標本は折れ本になっており、全てのページを広げて見ることが出来ます。模様は、ひな人形や兜といった節句に関するものや、兎や蝶、桜といった動植物、そして吉兆を表す幾何学模様などがあり、色とりどりの糸の鮮やかさが今も保たれています。



「勝伊代子自製紹刺標本」より

海舟だより
第12号

【勝海舟生誕200年記念】クラウドファンディング

「勝海舟の「家族展」を実現させたい！」
プロジェクト

ふるさと納税 対象

令和3年12月31日
まで募集中

今回は、海舟生誕200年に予定している「家族展」でお披露目したい資料のひとつをご紹介します。

～「赤坂氷川邸」の全体像を伝える貴重な資料
「勝伯爵邸平面図」～

多くの人々が海舟に相談や助言を求めるために訪れた赤坂氷川邸。そんな「赤坂氷川邸」の様子は、これまで訪問者の証言などから断片的にしか知ることができませんでした。「勝伯爵邸平面図」は、現状開くことが困難な状態であるため調査研究が進められていませんが、修復し図面を読み、調査を進めることができれば、赤坂氷川邸の全貌や実態、その他新たな事実の解明に繋がるかもしれません。

修復が達成されたあかつきには、調査研究の成果を皆さまにご報告いたします。



「勝伯爵邸平面図」



▲プロジェクトの詳細はこちら

◆便利になりました!

勝海舟記念館の入館料やグッズ購入時に、電子マネーやクレジットカードなどをお使いいただけるようになりました!



◆当館でしか手に入らない オリジナルグッズ!

売れ筋ランキング
(令和3年4月～10月)

- 1位 無血絆創膏 100円
- 2位 袴柄アルコールスプレー (限定販売品) 500円
- 3位 勝海舟記念館図録 1,200円

ホームページで
全グッズを紹介中です。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コンテンツの利用制限を行っています。最新の開館情報などは、区ホームページや公式ツイッターをご覧ください。



公式ツイッター



ホームページ



インスタグラム

発行: 大田区立勝海舟記念館
令和3年11月発行